

# 令和6年度第7回教育研究評議会議事要旨

日 時：令和6年11月20日（水） 13時30分開会  
15時22分閉会

場 所：Web 会議

出席者：54名

総長、山口、横田、山本、高橋、瀬戸口、行松、甲田、川端、加藤、尾崎、佐々木、近野、都木、藤森、谷本、網塚（浩）、永井、村越、木原、野口、久保（友）、芳賀、佐藤、辻、近藤、奥、矢野、幅崎、泉、林、忠永、久保（淳）、高木、畠山、田中、網塚（憲）、宮治、滝口、石塚（代理：坪田）、迫田、久下、堀内、曾根、山崎、渥美（13：57入室）、渡部（代理：杉山）、居城、村上、清水（代理：浦口）、高田、長縄（代理：仙石）、棟朝（代理：飯田 15：05退室）、宮下

欠席者：2名

AHMADJIAN、市川

オブザーバー同席：6名

高橋、北村、弐、石森、長谷山、西邑

議事に先立ち、総長から、資料に基づき、10月16日の令和6年度第6回教育研究評議会議事要旨の確認があった。

## 議 題

### 1 第4期中期計画・実行計画の見直しについて

山口理事から、資料に基づき、第4期中期計画・実行計画の見直しについて、経営戦略室において策定した「第4期中期計画の変更及び同実行計画の見直しの方針」に基づき、各総長室等において、質保証推進本部からの依頼に基づく自己点検・評価の結果を踏まえ、大学管理分の中期計画の変更と文部科学省提出分を含めた中期計画全体の実行計画の見直しの要否について確認を行った結果、計画4件の見直しを行うこと等について説明があり、審議した結果了承され、11月25日の役員会に付議することとなった。

### 2 教育研究評議会から総長候補者を推薦することの検討について

総長から、資料に基づき、総長選考・監察会議から、広く多角的に総長候補者を募るため、新たな推薦方法として「教育研究評議会からの推薦」を加えることの可否及び推薦が可能な場合における推薦方法について、教育研究評議会へ検討依頼があったこと等について説明があった後、総長選考・監察会議副議長の畠山医学研究院長から、依頼内容の趣旨等について説明があり、審議した結果、引き続き検討することとなった。

### 3 年俸制教員の業績評価における評価項目等の見直しについて

山口理事から、資料に基づき、年俸制教員の業績評価における評価項目等の見直しについて、

10月16日の本会議での審議を受けて再検討した結果、当初案から変更等は行わないこととしたこと等について説明があり、審議した結果了承され、11月25日の役員会に付議することとなった。

#### 4 女性教員の採用等について

山口理事から、資料に基づき、令和10年度までに女性教員比率を23%以上とする数値目標を達成するため、女性教員の採用比率を35%以上にする、実施期間は令和7年度から令和10年度末までとし、その後の状況に応じて当該ルールを継続する場合があること等について説明があり、審議した結果了承され、11月25日の役員会に付議することとなった。

#### 5 創成研究機構の改組（J-PEAKS 企画・運営室等の設置）について

瀬戸口理事から、資料に基づき、令和7年1月1日付けで、創成研究機構が担う機能と産学・地域協働推進機構が担う機能に連続性を持たせる組織として、創成研究機構に「J-PEAKS 企画・運営室」、「連携研究プラットフォーム」及び「北大コネク」を設置すること、改組に合わせて創成研究機構の名称を「総合イノベーション創発機構」に変更すること等について説明があり、審議した結果了承され、11月25日の役員会に付議することとなった。

#### 6 技術職員の技術支援本部への一元化について

行松理事から、資料に基づき、各部局に所属し技術支援本部に兼務している技術職員について、本部に原籍を置くこととし、技術職員の人事権を本部に移すことにより、技術職員の技術支援本部への一元化を図ること等について説明があり、審議した結果了承され、11月25日の役員会に付議することとなった。

## 報 告 事 項

### 1 北海道大学広報アンバサダー制度について

高橋理事から、資料に基づき、現行の「アンバサダー・パートナー制度」の活動実績等を踏まえ、本学の国際的な認知度、ブランド及びレピュテーションの向上を図り、北大コミュニティの一層の活性化を推進することを目的として、現行制度を見直し、新たに「広報アンバサダー制度」を設けること等について報告があった。

### 2 国立大学法人東京大学とのグリーントランスフォーメーションの推進に向けた連携協定の締結について

横田理事から、資料に基づき、東京大学と本学との間において、森林等の自然資本を中心としたグリーントランスフォーメーション（GX）を推進し、持続可能な社会の形成及びGXを通じた社会変革を目指すことを目的として、11月1日付けで連携協定を締結したこと等について報告があった。

### 3 国立大学法人北海道大学とエア・ウォーター株式会社における連携協定の締結について

山本理事から、資料に基づき、本学とエア・ウォーター株式会社との間において、グローバル社会や地域社会で活躍できる人材を育成し、地域と世界の将来を見据えた課題解決を推進し、もって持続可能な発展やWell-beingの実現に貢献することを目的として、連携協定を締結すること等について報告があった。

#### 4 令和6年度部局評価配分事業について

甲田理事から、令和6年度部局評価配分事業について、「各部局の強み・特色に対する評価」の評価結果に基づく予算配分等について報告があった。

#### 5 全学運用教員の措置について

#### 6 産業創出講座及び寄附講座の設置等について

本件については、資料の共有をもって報告とした。

(以上)